## ■2017 年 京都工芸繊維大学(前期) ▶

## ▲ 工芸科学部

- $s, t \in 0 < s < 1, 0 < t < 1$  を満たす実数とする. xy 平面において、原点 O(0, 0)、点 A(p, q) (q > 0) および点 B(1, 0) を頂点とする三角形 OAB を考える. 線分 AO を s: (1-s) の比に内分する点を C とし、線分 AB を t: (1-t) の比に内分する点を D とする. 点 A から直線 CD に下ろした垂線を AH とし、線分 AH の長さを h とおく、また、線分 CD の長さを l とおく.
- (1)  $\overrightarrow{OA} = \overrightarrow{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \overrightarrow{b}$  とする. ベクトル  $\overrightarrow{CD}$  を s, t および  $\overrightarrow{a}$ ,  $\overrightarrow{b}$  を用いて表せ.
- (2) h を s, t, q および l を用いて表せ. また, l を s, t, p, q を用いて表せ.
- (3) s, t および q を固定する. p が実数全体を動くときの h の最大値を求めよ.
- **2** 関数 f(x) を

$$f(x) = \int_{x}^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos \theta}{\sin \theta} d\theta \quad \left(0 < x \le \frac{\pi}{2}\right)$$

により定める.  $0 < t < \frac{\pi}{2}$  を満たす実数 t に対し,xy 平面における曲線 y = f(x)  $\left(t \le x \le \frac{\pi}{2}\right)$  の長さを l(t) とおく.

- (1) 極限  $\lim_{x\to +0} f(x)$  を求めよ.
- (2) l(t) を求めよ.
- (3) 極限  $\lim_{t\to +0} (l(t)-f(t))$  を求めよ.
- **3** a を正の実数とし、n を自然数とする。i を虚数単位とし、複素数  $z_n=1+\frac{a}{n}i$  を考え、 $r_n=|z_n|$ 、 $\theta_n=\arg z_n$   $\left(0<\theta_n<\frac{\pi}{2}\right)$  とおく。このとき次の問いに答えよ。ただし、 $0< x<\frac{\pi}{2}$  のとき不等式  $\sin x< x<\tan x$

が成り立つことを証明なしに用いてよい.

- (1) 関数  $f(x) = \frac{x}{\tan x}$  の  $0 < x < \frac{\pi}{2}$  の範囲のおける増減を調べよ.
- (2) 不等式  $n\theta_n < (n+1)\theta_{n+1}$   $(n=1, 2, 3, \dots)$  が成り立つことを示せ.
- (3) 極限  $\lim_{n\to\infty} n\theta_n$  および  $\lim_{n\to\infty} (r_n)^n$  を求めよ.
- **4** n を 2 以上の自然数とする. n 個の実数  $a_1$ ,  $a_2$ ,  $\cdots$ ,  $a_n$  が条件  $a_1 < a_2 < \cdots < a_n$  を満たすとする.  $b_1$ ,  $b_2$ ,  $\cdots$ ,  $b_n$  は n 個の数  $a_1$ ,  $a_2$ ,  $\cdots$ ,  $a_n$  をすべて並べた順列であり,順列  $a_1$ ,  $a_2$ ,  $\cdots$ ,  $a_n$  とは異なるとする.
- (1) 実数  $p_1$ ,  $p_2$ ,  $q_1$ ,  $q_2$  が  $p_1 < p_2$  および  $q_1 < q_2$  を満たすとき,不等式  $p_1q_2 + p_2q_1 < p_1q_1 + p_2q_2$

が成り立つことを示せ.

- (2)  $b_i > b_i$  を満たす 2 つの自然数  $i, j (1 \le i < j \le n)$  が存在することを示せ.
- (3) n 個の数  $a_1, a_2, \dots, a_n$  をすべて並べた順列  $c_1, c_2, \dots, c_n$  で、不等式  $\sum_{k=1}^n a_k b_k < \sum_{k=1}^n a_k c_k$

を満たすものが存在することを示せ.

## 出題範囲と難易度

## ♣ 工芸科学部

1 |分析中| B ベクトル(平面)

2 |分析中| III 極限・積分法の応用

3 |分析中| III 複素数平面·極限

4 | 分析中 | II | 不等式の証明 · B | 数列

➡注: 出題範囲は分析中のため変更される場合があります.